

歩道を走る自転車・事故の心理学（1）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 吉田, 信彌 メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/533

事故の心理学

(1)

吉田信彌

年末が近づくと、何かとあわただしくなり、事故に遭うケースも増えてきます。人間の心理からみた事故について、東北学院大学の吉田信彌教授に、注意点をまとめてもらいます。

◇ 事故の原因となるエラー(間違い)には2種類あります。一つは、どう振る舞うべきかが分かっていたはずなのに、その通りに実行できなかったエラーです。「分かってはいたけど、うっかりし

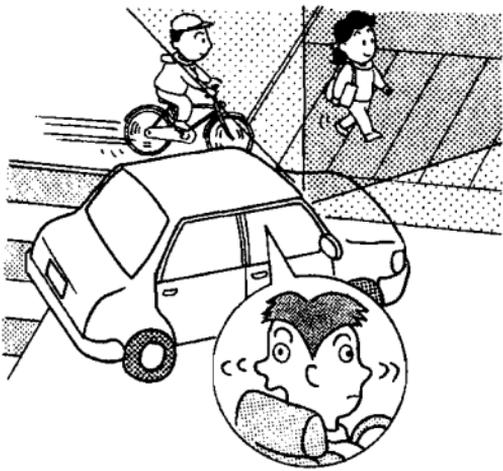
のは、第2の「知識不足」です。今回、特に訴えたいのは「横断歩道を自転車からのドライバーであれは、交通安全の知識を十分もっていると思いがちです。しかし、ペタランゆえの落とし穴もあるの

きること示す標識が定まったのは、1978年でした。自転車が車道でなく歩道を進むようになったのはこの年あたりからと考えてよいでしょう。今や「自転車は歩道

結果、待ちうけるのが凶のような事故です。乗用車が左折しようとして、自転車と横断歩道上で衝突する事故です。通常、運転者は横断歩道に駆け込んでくる歩行者に注意しています。歩行

車事故は多いのです。ペタランには、今まで事故に遭わなかったという成功体験があります。しかし、それは横断歩道に猛スピードで入る自転車に遭遇しなかったにすぎません。その幸運の積み重ねを自分の技量と過信すると、痛いしっぺ返しがかかるでしょう。道路情勢の変化に心じて、つねに自分の運転のリニエ

歩道を走る自転車



右左折時、首を回し広く確認

る人もいるくらいです。そのおかげで、自動車は左折時に自転車を善き込む死亡事故は減りました。

たはずです。加えて、そのころに免許を取ったペタランは、首が回りませんでした。なぜかという、教習段階で首を回す訓練

横断歩道の自転車に気がつくのは、右折時でもまったく同様です。右折するときのほうが対自転

しかし、自転車が歩道を進む。歩道の切れたところ横断歩道がある。自転車はそこもスピードを出して通行する。その

よしだ・しんや 1951年、仙台市生まれ。東北学院大学講師、同助教授を経て現職。専門は交通心理学。事故を引き

起すさまざまなエラーについて、実験研究を行っている。主な著書に『事故と心理』(中公新書)がある。